

明治時代（西南戦争と自由民権運動）の学習

(1) 学習のねらい

自由民権運動の背景、意義、人々の思いを、さいたま市の自由民権運動の様子から考える。民衆の動きと政府の動きをそれぞれ考えさせ、多面的な思考で自由民権運動をとらえる。身近な地域に明治時代の史蹟があることを知り、当時の人々の生活を考える活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で日本の歴史を理解することができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導入	<p>< 前時で扱った、西南戦争の復習をする。 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今羽の「高松長伝の碑」の映像を見て、さいたま市からも西南戦争に出陣していたことを知る。 ・「政府軍はどんな人々が兵士となったのか？」徴兵制の復習をする。 ・「出戦日記（渋谷宣二家文書）」をもとに、一兵士の立場からの戦争の様子を知る。 ※ 『彼はどんな思いで戦争に参加していたのか？』を考え、ノートに書く。 ・西南戦争の終結により、武力反乱の時代から言論の時代へと変わっていくことを理解する。 ・本時のテーマに対する予想を、各自たて、班で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市の戦没者が8人いることを知り、さいたま市と西南戦争の関わりの深さを感じさせる。 ・徴兵によって集められた兵が西郷軍を敗ったことの意味を理解させる。 ・資料から、根拠をもとに「彼の思い」を考えさせる。 	<p>【映像】 西南戦争の碑</p> <p>渋谷家文書</p> <p>【地図】 さいたま市 関東地方</p>
<p>『自由民権運動は、人々の「どんな国にしたい」という思いから起こった運動なのか？ ～さいたま市の運動をふまえながら考えよう！～』</p>			
展開	<p>< 自由民権運動を考える ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土呂村の「大岡育造」を取り上げ、さいたま市の自由民権運動の動きについて、様々な資料をもとに考えていく。 大岡育造の活動を追う 大宮、浦和での演説会の内容 → 様子、演題など 演説会が中止になった理由は？ ・資料「埼玉県で開催された演説会」「埼玉県の民権結社」からわかることを発表し、疑問を提示する。 ・自由民権運動の流れを、自由民権記念館などの資料を使い、全国規模で大きくとらえる。 ・出てきた地名は、その場で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でたてた予想が正しいかどうか、さいたま市の資料を中心に使って、検証する授業を展開する。授業に明確な目的を持たせる。 自由民権運動が発展していく様子を、さいたま市の事例をもとに考えることができる。 (思考・理解) ・高知市の自由民権記念館の資料を提示するなど、視覚的に 	<p>【映像】 小島家長屋門</p> <p>資料 演説会 民権結社</p> <p>【映像】 高知市の自由</p>

<p>民撰議院設立の建白書 集会条例 国会期成同盟 国会開設の勅諭 政党の結成 憲法の作成（国私</p>	<p>訴えながら運動の流れを説明していく。</p>	<p>民権運動関連史跡</p>
<p>< 憲法について考える。 > ※ 『自由民権運動をおこした人々（民権派）はどんな国をめざしていたのか？』 五日市憲法から考える。 ・ 五日市憲法の背景の説明を映像をうける。 五日市という土地柄、千葉卓次郎、深沢家 ・ 政府が出した、大日本帝国憲法と五日市憲法との比較をしながら、それぞれの憲法の特徴を見ていく。</p>	<p>・ さいたま市の自由民権運動を国の政策と関連させて考えさせる。</p>	<p>教科書資料集</p>
<p>< 五日市憲法 > 例 45条 基本的人権 47条 法の上において平等 51条 言論・出版の自由 58条 集会の自由 76条 教育の自由と義務教育</p>	<p>・ 国の方針を決める「憲法」の重要性を理解させ、憲法制定に対する民権派の強い思いに触れさせる。</p>	<p>資料 五日市憲法</p>
<p>・ 比較をして、わかったことをノートにまとめ、班で話し合う。 ・ 五日市憲法には「五日市の人々のどんな思いが詰まっているか」自分の考えをノートに書く。 ま と め ・ 本時のテーマに対する答えを自分の言葉でまとめ、学習カードに書き、提出する。 ・ 教師の話聞き本時のまとめとし、次回、自由民権運動の激化と崩壊を秩父事件を例に出して授業をすることを聞く。 ・ 次回、全員の意見がのっているプリントを読み、さらに理解を深める。</p>	<p>・ 映像を駆使し、実感としてとらえさせる。</p>	<p>【映像】 五日市 深沢家</p>
<p>・ 現在の日本国憲法との比較も行わせ、五日市憲法が、遜色のない民主的な憲法であったことに気付かせる。 ・ 一人ひとりの考えは、次時にプリントにして配り、クラスメイトの考えを知ること、思考を深めさせる。 本時のテーマに対し、様々な視点から多面的に考察でき、自分の言葉で考えを書くことができたか。 (思考・表現)</p>	<p>資料 大日本帝国憲法 日本国憲法</p>	

(3) 訪問先及び資料の入手先

資料

さいたま市立博物館、今羽氷川神社、小島家長屋門、自由民権記念館（高知市）
高知市自由民権史跡（立志社跡など）、あきる野市図書館、深沢家土蔵跡（あきる野市）

高松長伝の碑



小島家長屋門



深沢家土蔵跡



五日市
憲法



高知史自由民権関係



板垣退助生誕地



国会開設
請願書